

国際交流IN HARIMA パーティーはゲームや歌の披露で大盛況

5月11日(日)、町内と近隣に住む外国の人たちと住民が集い、交流のためのパーティーが開かれました。(主催 プロジェクト21はりま、播磨町国際交流協会、NPOまちづくりサポートはりま)
万国旗の飾られた中央公民館のホールに、播磨南高等学校生徒とボランティアによる、やきそばやサンドイッチ、関東煮など手作り料理が用意され、ステージでは、サクスの演奏や歌の披露が行われました。趣向を凝らしたプログラムを通して、参加者は言葉や文化を超えた交流を楽しんでいました。



▲ジャンケンゲームでにぎわう会場

カルガモの親子が、ほのぼの暮らしています

5月末、石ヶ池にカルガモの親子がいるという連絡を受け、その姿を確認しました。ボードウォークの下やシヨウプの合間を、親ガモの後ろを懸命に



◀親ガモの後ろに何羽いる？

ことぶき大学の奉仕活動 中央公民館周辺の草刈りを実施



▶きれいになりました

雨による順延を経て6月5日(木)の早朝に、ことぶき大学生による奉仕活動として、中央公民館周辺、役場駐車場、役場前バス停の植栽付近の草刈りと清掃活動が行われました。
鎌で刈る人、ほうきでかき集める人、軍手で拾い集める人など、日頃から共に学ぶ学友同士のチームワークを発揮しながら、手際よく丁寧な仕事ぶりです。作業の間も笑い声が絶えず、「何事も楽しんでやらなきゃ」と、にぎやかな様子で、大きなビニール袋が次々と収集場所に積み上げられていきました。

地域に学ぶトライやるウィーク 播磨中学校・播磨南中学校が一斉に実施

中学2年生が様々な体験をするトライやるウィークが、6月2日(月)～6日(金)の一週間、町内全域で行われました。対象となる中学生368人を受け入れた事業所は107カ所。中学生自身にも馴染み深い飲食業、販売業のほか、製造業や福祉、環境、文化、ボランティア活動など多種にわたる体験活動が行われました。



◀大変な作業を体験

加古郡リサイクルプラザで行われた実践活動では、郡内で収集されたペットボトルの中から、リサイクルに適さない異なる素材の混入物を手作業によって、分別する作業などを体験しました。

東播磨ふれあいネット (BAN-BANテレビ 11チャンネル)
播磨町・稲美町・加古川市・高砂市の情報番組です。

7月の放送予定 (収録場所 稲美町)

前半 7月7日(月)～20日(日)

- 特集 万が一に備えて 応急手当を学びませんか (加古川市)
- ふれあいインフォメーション (各市町からのお知らせ)

後半 7月21日(月)～8月3日(日)

- 特集 高砂市民病院からのお知らせ「麻下障害ってなあに???(高砂市)
- ゆうゆうライフ 編物教室 (播磨町)

放送時間 (第1・3月曜日の①以外は再放送) 30分番組

- 月・水・金 ①午前10時 ②午後2時 ③午後7時30分 ④午後11時30分
- 火・木 ①午前9時30分 ②午後4時 ③午後9時30分
- 土・日 ①午前8時 ②午前11時30分 ③午後5時 ④午後9時

わんぱくはりまっ子



むらはら はやく
村原 颯くん(1歳)
北本荘

たくさん食べて、大きくなあれ!
父・母より



このコーナーに出る「わんぱくはりまっ子」を募集しています。(未就学児) 広報担当まで電話をお願いします。

楽屋裏

今月の広報は、夏休み向け講座の案内がいっぱいです。子どもたちと参加したい催しを探し、内容をよく読んで申し込みが必要な場合は期日に遅れないように気を付けてください。
この広報を編集しているのはまだ6月ですが、8月の情報収集に取り掛かっています。朝来市にある播磨ふれあいの家「多々良木山荘」周辺を皆さんにご紹介できるように、梅雨にも負けず現地視察や撮影などに取り掛かっています。播磨町と朝来市の子どもたちが交流するキャンプの募集もp5に掲載していますが、ご家族やご友人と一緒に皆さんも緑豊かな「多々良木山荘」にお出掛けしてみませんか? 住民グループにもパンフレットを用意しています。ぜひご利用ください。(宮)

いいね! はりま

町政
レポート
No.18



▲ジョセフ・ヒコの墓前にて

■紫陽花の花が梅雨の雨に打たれて元気です。毎年、訪れる人々を楽しませてくれる播磨町塵芥処理センターの紫陽花の開花を、今年は例年以上に待ち望んでいました。その理由は育つ過程での新たな試みでした。今年2月、明石海峡で起きたタンカー衝突事故で被害にあった海苔を、播磨町では焼却処分せずにEM菌を混ぜて発酵させ、堆肥化しました。それを紫陽花の土壌に施したわけですが、結果は大成功でした。センターの迅速で適切な処理が資源の再生を果たし、色とりどりの紫陽花を咲かせました。
■庁舎の情報コーナーに深坂孝二氏の写真を展示しています。「私が出会った播磨町」というテーマで日頃から撮られていた写真の一部をお借りして、ロビーに飾らせていただきました。写真を通して播磨町の風景を知っていただき、町内の施設などに足をお運びいただききっかけになればと思っています。このようなまちの風景写真を募集しています。我こそはと思われる方は、是非ご一報いただければと思っています。
■今年秋、資料館でジョセフ・ヒコの特別展を開催するということもあり、東京での会議の前後の時間を利用して、ジョセフ・ヒコゆかりの地を訪れました。都心の青山墓地にあるヒコのお墓は、外国人墓地にあって日本風のお墓ですが横に奥様のお墓もあり、きれいに管理されていて安心しました。同行の杉原議長や職員と共に、お花と線香を手向けてきました。また、翌日には横浜にある「新聞発祥の地」の記念碑と新聞博物館に行き、日本の歴史に残るヒコの足跡に触れてきました。「ヒコ」の顔が入った記念碑が中華街の片隅にあったり、新聞博物館のガラスケースの中に「海外新聞」が大切に保存されているのには感激でした。播磨町の偉人をもっともっと多くの人に知って欲しいと思っています。
播磨町長 清水ひろ子